



令和 7 年 8 月 2 2 日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 (8 番)

中尾 理明



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により質問の通告をいたします。

記

質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
1 国民健康保険税（料）等の県統一化及び関連事項について	（１）保険税(料)の県統一化に向け、鳥取県(県国保運営協議会)は、現在どのような方針で進めているのか伺います。	町 長
	（２）保険税(料)の県統一が開始されて以降、町の国保財政調整基金はどのように活用されるのか、県に拠出を求められることはないのか伺います。	町 長
	（３）国は、令和 8 年度から 10 年度にかけて、子ども・子育て支援金の一部を国民からの拠出による仕組みを検討しているが、その方法として、国保など各種医療保険の加入者・被保険者から月額全制度平均 250 円(見込)を保険料に加算して徴収する方針であると伝えられている。これは、重要な福祉施策でもある子育て支援の財源づくりに国民の負担を求めるという手法であり、逆に福祉切り捨てであります。このことへの所見を伺います。	町 長
2 米軍機・自衛隊機の低空飛行訓練について	（１）令和 7 年 1 月から同 8 月までの町内で目撃された米軍機、自衛隊機について、飛行日数と回数(累計)及び、そのうち機体や爆音で明らかに戦闘機であると確認されたものの飛行日数と回数(累計)を伺います。	町 長
	（２）国内では、様々な軍用機の事故が多発している。8 月に入り、操縦士は脱出できたものの自衛隊機 F2 が、茨城県沖に墜落した。5 月には、愛知県で自衛隊機が墜落、	町 長

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質問の相手
2 米軍機・自衛隊機の低空飛行訓練について	2 人が死亡している。また昨年 10 月には、沖縄・与那国島駐屯地から離陸しようとした自衛隊機オスプレイが左翼を地面に接触させる事故を起こした。米軍機についていえば、過去に戦闘機の墜落事故があったことは周知のとおりであるが、昨年 11 月には、屋久島沖でオスプレイが墜落、8 人が死亡した。前年も同様に 1 人が死亡している。また、7 月 18 日には、米軍オスプレイが機体の異常を感知し、秋田県大館能代空港に、同様に同月 29 日には岩手県花巻空港に突然の緊急着陸が相次いでいる。屋久島事故を受け米軍オスプレイは、機体の点検が行われたと報告されただけで原因究明のないまま飛行が続いているが、このような異常事態が相次いで発生していることはなほ遺憾である。米軍・自衛隊機の訓練が行われている地元町長としての所見を伺います。	町 長
	（3）町長は、低空飛行訓練の実態を客観的に調査するために騒音測定器の設置について、国による設置が望ましいとの見解を示されているが、未だに実現していない。令和 7 年度の全国知事会の国要望事項に、米軍の飛行等について、「国の責任で騒音測定器を増やすなど必要な実態調査を行うこと」と記述されていることには敬意を表するものであるが、若桜町は国要望の結果に関わらず、中国四国防衛局の再調査を含め、目に見える形で行動を起こすことが必要と考えるが、所見を伺います。	町 長
3 若桜学園の教育環境の現状について	（1）子どもの生活環境は、SNS など誘導され、事件に及ぶなど課題は増大していると考えます。それに対応し、子どもへの健やかな成長を促進する教職員の努力が注がれている。教員の方々と共に、学園のスクールソーシャルワーカーなどの相談員、支援員など専門性をいかした取り組みが望まれるが、それら職種の配置は十分なのか伺います。	教育長
	（2）本年度予算審査特別委員会で、教育長は、部活動の地域移行に関して、民間指導者を確保し推進する方針であると説明されたが、その進捗状況を伺います。	教育長